

新輯る百鬼園俳句帖 雑記

平山三郎

百鬼園俳句帖は昭和九年六月、三笠書房の刊行。順序からいうと、

随筆の「ま」に、上梓された。和本社立、帙

入。本文和紙、フクロ、綴じ、各頁セピア色のケ

イで囲んで一ページ二句組、いろ。頁。定價は

一円である。(希望者に頒かつ限定本) だったらしい。

収録句数は、次のようになっている。

春句 三十三句、夏句 十七句

秋句 四十五句、冬句 二十五句、計 百二十句

1行アキ

俳句帖を上木したあと、また別な編が

ところから出てきた。俳句帖を作るとき

手近にあった句稿だけで間に合おせたので、

不手際を生じたのである。出てきた句

稿は三十五句。ちょうど同年秋に中央

公論社から出る文集「無絃琴」の巻末に「百鬼

園俳句帖拾遺」として、附録した。

薄雲の山越しに澄みま白立てり外、三十五句を